

第51回経営協議会議事録

1. 日 時 平成29年1月24日(火) 13時55分～15時37分
2. 場 所 ホテルクラウンパレス浜松 3階 松の間
3. 出席者 今野(議長)、伊藤、猿田、布村、正木、御室、門田、山本、金山、前田、晝馬、
松山の各委員
陪 席 宮嶋副学長(教育改革担当)、浦野副学長(情報・広報担当)、蓑島副学長(研究担当)、西山監事、村本監事

4. 議事録の確認

第50回経営協議会議事録(案)を原案どおり確認した。

5. 議 事

(1) 平成29年度の予算編成方針について

前田理事から、平成29年度予算編成方針について説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

(2) 附属病院の経営状況について

松山副学長から、附属病院の経営状況について説明があり、審議の結果、病院経営について、引き続き改善に取り組んでいくこととした。

(3) 業務達成基準の適用について

前田理事から、業務達成基準の適用について説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

(4) 規則の改正について

①職員給与規程の改正

総務課長から、職員給与規程の改正内容について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

②諸料金規程の改正

総務課長から、諸料金規程の改正内容について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

③病院諸料金規程の改正

総務課長から、病院諸料金規程の改正内容について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

(5) 報告事項

①地域科学技術実証拠点整備事業の採択について

山本理事から、地域科学技術実証拠点整備事業の採択について、説明があった。

②平成 29 年度概算要求の内示について

前田理事から、平成 29 年度概算要求の内示及び事業内容について報告があった。

③浜松医療センターとの連携について

学長から、浜松医療センターとの連携について報告があった。

④平成 29 年度経営協議会開催日程について

学長から、平成 29 年度経営協議会開催日程について報告があった。

次回の経営協議会について（平成 29 年 3 月 29 日開催予定）

※学外委員からの主な意見（○：学外委員の意見等、◆本学側の意見・説明等）

議事（１）平成 29 年度予算編成方針について

- 基礎臨床研究棟の改修やナノスーツ開発研究部の新設など、非常に意欲的な取り組みをしている。大学の研究と地域や企業の技術との連携・融合及び研究の実用化など今後も引き続き力を入れてほしい。
- ◆大学の研究や技術と企業の技術を融合していくこと、またそれを医療と融合していくこと、そして、それらの成果を出すことは常に根幹として意識しているところである。

議事（２）附属病院の経営状況について

- 附属病院の経営において、かなり人件費率を抑えているように感じるが、特段の努力を行っているのか。
- ◆人件費に関しては、かねてから必要不可欠な人材のみを採用するなど工夫をしている。ただ、必要部署には人員を増やしたいとは考えている。
- 外来単価が若干低いと思われるがどのように考えているのか。
- ◆問題意識はある。物理的なスペースに問題があるという視点もあり、経営全般を踏まえ検討したい。
- 平均在院日数が減少傾向にある。地域の病院との連携も行っているのか。
- ◆地域の病院との連携は非常に重要視していて、会議を設け、実質的な地域連携を整備している。また、在院日数については、入院日および退院日を確実に管理するとともに、看護部にて意欲的に調整しているのも効果が出ている要因と考えている。
- 特に静岡県は東西に長いこともあり、東部地方については、地域医療の範囲としてはどう考えているのか。
- ◆基本的には本学はこの近辺の医療が中心であるが、県内だけでなく県外からも患者が来ており、その際にはその地域の病院と連携をしていくことになる。

議事（５）報告事項

- ①地域科学技術実証拠点整備事業の採択について
- 産学連携は強みであると思うので、これからも力をいれていただきたい。
- ◆今回の事業では、産学連携を行う「場」の提供を進めたい。公的資金をさらに獲得するとともに医療との連携における取決め等も検討していきたい。
- たとえば、医工連携における試作品を実際に医療に利用する場合は、何らかの手続きを行っているのか。
- ◆未承認の医療機器を臨床の場で利用する場合は、医薬品と同様に倫理委員会の審査を経て行っている。また、シミュレーターについてもさらに活用していきたい。